

日本油化学会

界面に関するアドバンスセミナー2012

中堅社員のためのフォローアップセミナー －製剤技術にまつわる4つの講座－

化粧品や食品、医薬品の製剤開発に携わる中堅社員・若手リーダーに向けて、「よりよい商品作り」につながる知識、考え方、ヒントを提供するセミナーを企画いたしました。この企画は本会主催のフレッシュマンセミナーのフォローアップセミナーと位置づけ、基礎的な乳化、分散技術からさらに一歩踏み込んだ知識を取り入れたい方にも役立てていただけるよう構成しております。

化粧品や食品、医薬品の製剤開発は乳化、可溶化、分散技術を駆使して行われますが、これらの分野の進歩は目覚ましいものがあります。先端技術を取り入れ、さまざまな技術と融合して、新しい革新的な商品開発に結び付けていただくよう、製剤技術にかかわる4つの話題を取り上げました。それぞれ分野の第一人者を講師にお招きして講義をしていただきます。

主催：公益社団法人 日本油化学会

日時：平成24年2月24日（金） 9：30-17:30

会場：油脂工業会館9階会議室（〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-11）

参加費（テキスト代含む）：

正会員	10,000 円
法人会員	12,000 円
協賛学協会員	12,000 円
会員外	20,000 円
学 生	4,000 円

募集人員：50名（定員になり次第締め切ります。）

プログラム（演題、講師と要旨）：

(1) 乳化技術のトレンド

千葉科学大学

坂本 一民 氏

9:30-11:00

乳化とは「混ざらない複数の液体からなる分散系で、平衡状態では相分離する不安定な混合系」であり、目的とする用途に応じた分散状態・安定性・機能を求めてさまざまな工夫がされてきました。本講演では温故知新の観点で、新しい乳化技術への挑戦を界面化学的側面や、プロセス技術の視点から概説します。

(2)分子集合体を用いた製剤技術

横浜国立大学大学院

荒牧 賢治 氏

11:00-12:30

界面活性剤，脂質，高級アルコールなどの両親媒性分子を用いた化粧品，医薬品，機能性食品などの製剤技術にはミセル，エマルジョン，リポソーム，固体脂質ナノ粒子 (SLN)，リオトロピック液晶分散体 (cubosome 等)，リオトロピック液晶を利用したゲルエマルジョン (O/LC, W/LC 型) などがある。ここではこれらの基礎と利用例について解説する。

(3)クリーム の物性と油滴結晶化挙動

雪印メグミルク(株)

武藤 高明 氏

13:30-15:00

食品分野における油脂結晶が共存するエマルジョンの例として，クリームを取り上げ，クリーム の物性に及ぼす油滴結晶化挙動の影響を紹介する。具体的には，温度処理によるクリーム の増粘・固化現象と油滴結晶化との関係，増粘・固化現象に及ぼす油溶性乳化剤添加の影響，ホイップ機構における油滴結晶の役割等を予定する。

(4)多相製剤の設計

山形大学大学院

野々村 美宗 氏

15:00-16:30

エマルジョン製剤は単純な油-中-水型エマルジョンや水-中-油型エマルジョンだけではない。水の中に油-中-水型エマルジョンが分散した水-中-油-中-水型エマルジョン，油相の中に水-中-油型エマルジョンが分散した油-中-水-中-油型エマルジョン，さらには固体粒子と液相が両方分散した系が用いられる。本講演ではこれら多相製剤の調製法と特性を紹介する。

(5)フリーディスカッション(懇親会 無料)

16:30-17:30

問合せ先:(株)資生堂 岡本 亨 Tel:045-590-6051 E-mail:tooru.okamoto@to.shiseido.co.jp

申込先:(社)日本油化学会事務局 Fax:03-3271-7464 E-mail:yukagaku@jocs-office.or.jp

日本油化学会界面に関するアドバンスセミナー2012 参加申込書

ふりがな 氏 名		所属 ○印	正会員 法人会員 協賛団体会員 (会員番号:) 学生 非会員
勤務先 所属・部署			
連絡先	〒 Tel:() - Fax: () - E-mail:		

お申し込みは Fax:03-3271-7464 またはメールで。参加費は当日受付でお払ください。